

○どこでも積極的にあいさつができる子 ○個性を生かし主体的・対話的に課題解決する子 ○進んで思いやりのある行動がとれる子

北大和小だより

11月号

令和3年10月28日
大和市立北大和小学校
〒242-0001 大和市下鶴間685
ホームページ <http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/s-kiita/>



行事が始まり、引き続き、日頃の健康観察や本人やご家族の体調不良に際して早めに登校を控えるご協力をいただき、ありがとうございます。緊急事態宣言が解除されましたが、基本の感染対策は継続し、パーティーについては、場面に応じて外していくことで活動を進めています。この状況を維持し、ご家庭と学校とで連携してまいりたいと考えます。よろしくお願いいたします。 校長

—全国学力・学習状況調査結果の分析—

6年生を対象に5月に実施した全国学力・学習状況調査の結果が届きました。本年度は、国語と算数の学力調査と質問紙調査(生活の様子など)が行われました。その年の6年生によって結果の特徴は、違いますが例年同じような傾向を示すところもあります。それを分析して、6年生そして北大和小全体の教育活動に反映しています。6年生には、学習や生活のしかたの参考になるよう個人の結果は後日お配りします。今回は今年度の結果と分析の概要をお伝えいたします。

☆学習面の全般的な傾向 - 国語・算数から -

国語・算数ともに「考えを深める学習」を大切に、課題を主体的に捉えて考えをまとめる学習が必要です。

【国語】○「話す・聞く能力」と「読む能力」は、授業中「つばやく」ことや、「読む」「聞く」ことから話し合うことで「考えを深める」力が少しずつ伸びているようです。

△「書く能力」と「言語についての特徴や使い方」は、短答式・記述式の問題で正答率が低いことから、継続して「言葉や言葉の使い方」を豊かにし、「考えを書きだしてまとめる」学習を増やす必要が見えてきました。

【算数】○「図形」「データ活用」は知識や図形やデータの扱い方などで優れていて興味をもって取り組み定着している様子が伺われます。

△「数と計算」「測定」「変化と関係」の領域は数量やその関係から思考・判断・表現することで「考えを深めてまとめる」学習を丁寧に扱う必要が見えてきました。

☆生活の様子、学習習慣など - 児童質問紙回答から -

コロナ禍で生活の楽しみと生活リズムとのバランスが難しい状況ですが、前向きな想いが伺えるのが素晴らしいです。新聞活用や読書を進め、言葉の使い方を学び、考えを表す力を伸ばし育てることを課題とし、「今できていること」、「もっと伸ばしたいこと」を今後の教育活動に反映してまいります。

○朝食の喫食率は高い ○授業でのICT活用やその良さを感じているが高い

○いじめはどんな理由でもいけないは高い ○話し合い活動ができているは高い

○9割以上が人の役に立ちたいと考えている ○問題をあきらめずに解くは高い

▲3割は就寝時間が不安定 ▲5割が1日のゲーム時間2時間以上 ▲8割が新聞を読まない

▲3割がスマホやゲーム機などの利用の約束を守れていない ▲3割が読書の不読者である

▲4割が考えを言葉で表すことが苦手と感じている。 ▲計画的な家庭学習は若干低い